

陳 情 文 書 表 (令和8年9月3日定例会提出)

陳情第34号

奈良公園における迷惑行為の助長及び風評被害に関する調査と是正措置を求める陳情

令和8年8月19日受理

陳情者 ●●●●●●●●●●
清 水 朝 弘

陳情の趣旨

奈良公園周辺において、特定のグループによる情報の捏造、市民や観光客への誹謗中傷及び迷惑行為が組織的に繰り返されています。当該行為により心身に多大な被害を受けた方が現実存在し、奈良市の治安や国際的な観光地としてのイメージが著しく損なわれています。奈良市議会におかれましては、本件をへずまりゅう市議個人の活動と放置することなく、市民及び観光客の安全を守る観点から、実態の調査と必要な対策の検討及び議会としての姿勢の明確化を強く求めます。

陳情の理由

私は、かつて当該グループに所属していた者ですが、内部で目撃した事実は極めて悪質かつ組織的なものでした。

1. 情報の捏造と被害者への加害：学生などをクルド人と偽って誹謗中傷したほか、インタビューを受けた女性をSNSでさらし社会生活を送れない状態に追い込む、外国人観光客に事実無根の罪を着せて顔写真を拡散するなど、罪のない市民や観光客に対する執拗な攻撃が繰り返されています。
2. 事実の歪曲と観光環境の悪化：喫煙所から拾ったたばこを用いた偽装工作や、奈良県や愛護会が発信する注意事項を意図的に無視し、誤った情報を拡散することで、観光客と鹿の間に不要なトラブルを誘発させています。
例: 鹿におじぎをさせてから鹿せんべいを与える行為、鹿せんべいを砕いてまくことでの餌づけ・呼び寄せ行為
3. 注意に対する報復：グループに対し再三の注意を試みましたが、「へずまに逆らうな」と封じ込められ、真実を告白した現在は、私自身及び家族に対して脅迫電話がかかる事態となっており、既に警察へ通報、後日相談済みです。

これら一連の行為は、SNSでの注目を集めるためだけに、無関係な個人の尊厳をじゅうりんするものであり、断じて看過できるものではありません。奈良市議会が本件を「個人活動」として放置し続けた結果、現在も被害者が苦しみ、奈良市の治安が悪化しています。

市議会議員やその関連グループによる、事実確認を欠いた情報発信や市民・観光客をさらしものにする行為が、公然と奈良公園で行われている現状を重く受け止めてください。市民の平穏な生活と、安心して観光を楽しめる奈良の環境を取り戻すため、議会として責任ある調査と議論を行われることを強く希望します。